

下関市指定管理候補者選定委員会（観光施設3）議事録
(要点)

日 時：令和7年10月30日（木）午前9時00分～午前11時35分

場 所：下関市役所西棟5階大会議室

出席委員：A委員、B委員、C委員、D委員、E委員 以上5名

その他出席者：事務局 下関市観光スポーツ文化部観光施設課職員 4名

次 第：1 開会

2 委嘱状交付

3 委員自己紹介

4 委員会及び委員の職務等、下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例及び同条例施行規則の説明

5 委員長選任

6 質問

7 下関市立しものせき水族館

（1）審査基準、配点・最低制限基準の決定

（2）募集内容、施設概要説明

（3）応募団体の申込内容について報告

（4）応募者プレゼンテーション、ヒアリング

（5）採点

（6）集計

（7）決定

8 閉会

1 開会

開会のあいさつ

2 委嘱状交付

各委員に委嘱状交付

3 委員自己紹介

各委員の自己紹介

【事務局】

委員5名全員の出席により、下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則第9条第3項の規定によって、会議が成立していることを報告。

4 職務等、手続条例及び条例施行規則の説明

【事務局】

下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例及び手続条例

規則に規定された、委員会の設置目的や委員の任期等について説明。

5 委員長選任

委員の互選により委員長を選任。

応募団体の提案書に含まれるアイデアや著作権の保護、選定までの間の委員との接触を避けること等、円滑な審理を確保するため、会議を非公開にしたいという考え方を示す。

－異議なし－

6 質問

下関市長から当委員会に対し、指定管理候補者の選定に関する意見を質問。

7 審査

【委員長】

議事録について正確性を確保するため、議事録署名人を指名。

－議事録署名人に指名された委員、承諾－

(1) 審査基準、配点・最低制限基準の決定

【事務局】

以下のとおり説明及び選定委員による審議を依頼。

- ・事務局（案）として、下関市指定管理者制度ガイドラインの指定管理候補者選定（審査）の基準・着眼点のモデル案を参考に作成。
- ・採点方式の100点満点とし、最低制限基準を平均60点以上とすること。
- ・1団体のみの応募であるが、採点方式により、各委員の採点の過半数以上が最低制限基準に達しており、かつ平均点が最低制限基準以上であれば選定すること。

【D委員】

しものせき水族館は来年度から利用料金制を採用するので、提案価格が少なければよいというものではないと思いますが、どこを評価すればよいですか。

【事務局】

しものせき水族館は利用料金制になりますが、市が本来負担すべき経費を指定管理料として支払います。この額に対して審査いただきたいと思います。

－その他意見なく、了承－

(2) 募集内容、施設概要説明

【事務局】

募集内容、施設概要について説明。しものせき水族館は手続条例の規定に基づき公募に適さない施設として、現在の指定管理者である公益財団法人下関海洋科学アカデミーを単独指定したことを説明。

(3) 応募団体の申込内容について報告

【事務局】

事前に申込者の資格について提出書類を事務局で確認し、適合していることを報告。

(4) 応募団体プレゼンテーション、ヒアリング

－ 4 名－

【応募団体】

プレゼンテーションにより説明（運営に関する考え方、取組等の説明）

【B 委員】

利用料金制になることでメリットや変わることありますか。

【応募団体】

観覧料が直接財団の収入になり、市へ納める事務的な作業がなくなるほか、入館料という自主性のある資金が柔軟に活用できるのはメリットと考えています。

【A 委員】

リニューアルの段階で準備に向けて、どのように誘客を分析し、どの層をターゲットとして、どのような戦略で広報宣伝に努めたのかを教えてください。

【応募団体】

小さなお子様から高齢の方まで幅広く対象とし、いずれのお客様にも満足が得られるようにという視点で、館内のサイン環境の全面的な見直しのほか、展示の意図を明確に伝えるゾーニングの強化、リニューアル感をより創出するウェルカムモニュメントやLEDビジョンの設置やショップの全面改裝を行いました。また、飼育を担当する展示部職員もSNSのアップの仕方や頻度、そのやり方を専門的な人材から指導を受けています。

【A 委員】

インバウンドの誘客についての戦略はありますか。

【応募団体】

直接的ではないですが、広告媒体は段々とSNSの比重を大きくしてきており、これは海外の方にもアピールできる体制ではないかと考えています。

【D 委員】

海響館のオープンが夏休みだったので、土日はとても人が多かったのですが、お客様からの車を止めにくかったなどのお声はありましたか。

【応募団体】

電話等で駐車場の問い合わせは非常に多くありました。

【D 委員】

周辺施設との連携は説明にもありましたか、すでに取り組まれているのですか。

【応募団体】

新たにふぐに関する学びの体験コンテンツを連携して造っているほか、周辺5施設とは長年連携しており、継続いたします。

【C 委員】

周辺ウォーターフロントの開発や発展、来年のディスティネーションキャンペーン実施など、外部環境的には追い風の中で、この5年間は入館者が減少すると想定された理由、根拠をお聞かせください。

【応募団体】

基本的に水族館の特徴として、オープン時にもの凄く入館者が多く、そして漸減していき、リニューアルでお客様をある程度取り戻して、また漸減しながら一定の水準に落ち着いていく傾向があり、海響館も同じです。来年から入館料が収入になりますので、過大になってはいけないという面からもその傾向は踏襲すべきと考えました。

【C委員】

広報宣伝する時の他施設との差別ポイントや訴求ポイントをどのようにお考えかお聞かせください。

【応募団体】

独自性というのがとても大事だと考えています。ふぐに関するものを徹底的に情報発信しているほか、海洋ゴミで楽器を造ってオーケストラを奏でる下関海響楽団といった他にはない色合いのものを意識してやっています。

【C委員】

ＩＣＴを使った業務効率化など、経費削減の面で取り組まれているものはありませんか。

【応募団体】

給与事務に関してはクラウドのシステムを使っているほか、財務会計も税理士が推奨したシステムを使っています。飼育展示系では、ＩＣＴを導入した他館で業務効率化につながっていないと伺っており、すぐに導入するようなものではないと考えています。情報収集には努めています。

【E委員】

リニューアルを契機に見せ方を工夫した、あるいはイベントで見せ方を工夫したものはありますか。また、研究発表を盛んに行っていると伺いましたが、特に力を入れている、あるいは推進していきたい研究がありましたらお聞かせください。

【応募団体】

まず展示面ですが、今回のリニューアルは水槽の改修がほとんどできない中、規模が大きくお客様も足を止めるサンゴ礁水槽は劣化が酷かったので改修しました。ただ、サンゴ礁という大きなテーマは変えずに雰囲気をガラッと変えて、“青い海の世界”を再現し、今までとは違う印象を与える工夫をしました。また、関門海峡水槽の表層にサバの群れ展示を行い、お客様を惹きつける工夫をしています。イベント面では人員が少ないため、「ゲリラトーク」という名称で、飼育にかかるスタッフが餌やりやトレーニングを行う時に学びを提供する取組を始めております。

研究で重視しているのは水族館らしい研究です。水族館で生き物を飼育してい

るからこそ分かる研究、できる研究を重視しています。

【D委員】

解説ボランティアは事前に申込みか何かをすることで解説を行うスタッフになるのですか。

【応募団体】

事前に募集して、応募いただいた方を新規登録し、解説だけではなく誘導案内など館内でいろいろな補助活動をしていただきます。今年は14名が新規に登録しており、海響館の活動に参加したいと思われる方は多くいるようです。

(5) 採点

(6) 集計

(7) 決定

【事務局】

各委員の採点は、90点、72点、88点、71点、77点で、過半数委員が最低制限基準以上の採点に達しており、合計398点、平均79.6点です。

【委員長】

集計結果の発表がありましたが、過半数の委員が最低制限基準以上である、平均点が最低制限基準以上である、といういずれの条件も満たしておりますので、公益財団法人下関海洋科学アカデミーを下関市立しものせき水族館の指定管理候補者に選定することで異議はありませんか。

－異議なし－

－異議なしのため、公益財団法人下関海洋科学アカデミーを下関市立しものせき水族館の指定管理候補者に選定－

－審査終了－

8 閉会